

平成29年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策 活動計画策定

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階						評価	評価コメント
					H28	H29	H30	H31	H32	H33		
東北	①活動計画策定	青森県	三沢市	三沢市地域水産業再生委員会	●	●	○	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。昨年度から継続して、スルメイカ等の地域の魚介類の販売促進活動に取り組んだ成果が販売実績の拡大に結びついている。一方で、目標としている交流人口、売上は28年度を下回っており、30年度以降の目標達成に向けて取り組みの加速が求められる。今後は、三沢市の水産物を県内外へさらに認知してもらおうことを目指し、地域ブランド商標の取得に注力し、取り組みの継続に期待したい。
東北	①活動計画策定	岩手県	金ヶ崎町	和光地区活性化協議会	●	●	○	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし、しっかりと取り組んでいる様子が見える。当地区での「農業公園構想」が基盤にあることも大きいと思われる。加工品の製作、販売のための法人を設立されているが、訪れた人を迎え、リピーターとするためにも地元の人を取り込んで受け入れ体制を強化していくことを同時に進めることが望ましい。しっかりとマーケティングを行って継続してほしい。今後の展開に期待したい。
東北	①活動計画策定	福島県	会津若松市	会津東山温泉里山農園協議会	●	●	○	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし、しっかりと取り組みを進めていると思われる。教育旅行は競争条件が厳しいので、さらに綿密な計画と取り組みが大切である。そのためにも鳥獣被害についてしっかりと対策を取り、安全安心な受け入れを行い継続していくことが重要と考える。
東北	①活動計画策定	岩手県	陸前高田市	米崎りんご交流活性化推進協議会		●	○	○	○	□	B	計画に基づく取組が一定程度実施され、成果もある程度あがっていることから、評価をBとした。地域の特産品「米崎りんご」を中心に、地域振興を図るための取組が進んでいる。売上は、そのりんごやパイロットツアーの合計金額で、目標を超えているものの、モニターツアーによる交流人口は目標を大きく下回っている。モニターツアーも年度末に実施されているので、まだ、交流を充実させるまで展開しきれていないことがうかがえる。30年度以降は、地域の資源を発見し、その地域を軸として外部からの関心(交流人口)を招き入れるような交流を図っていただきたい。
東北	①活動計画策定	宮城県	川崎町	支倉小学校活用・地域振興協議会		●	○	○	○	□	B	計画に基づく取組が一定程度実施され、成果もある程度あがっていることから、評価をBとした。これから拠点を作るための立ち上げ準備が行われている。そのため売上はまだまだ無い。廃小学校を利用しての立ち上げのために、地域が寄り合い商品化や直売所についての準備が進められており、地域の者同志のコミュニケーションが図られている状況にある。30年度の計画では、500万円の売上を見込んでいることから、その準備としての29年度の成果は、交流人口で示されていて、目標は達せられている。30年度は、29年度の成果を刈り取るべき年になるので是非とも成果を期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)

平成29年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H28	H29	H30	H31		
東北	③農山漁村における農林水産物の販売・加工	秋田県	北秋田市	大阿仁地域活性化協議会	●	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。「道の駅あに」での物販イベント等の充実により、交流人口は目標を上回っており、事業目的の一つである担い手組織の自立化は順調に進んでいることが確認できる。一方、売上げは天候不順等の影響もあるが、28年度を下回っており、取り組みの継続性を担保するためにも、30年度の活動が重要といえる。そのためには、各種イベント参加者へのアンケート調査や関係者のコメントを参考に、PDCAサイクルに沿ってイベント企画の充実を図り、さらなる事業の発展を期待したい。
東北	④農山漁村への定住促進	岩手県	花巻市	大迫ぶどう産業振興協議会	●	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標は概ね達成できており、特に新規就農者数が3名と増えている点は、本事業を通じて策定された「大迫ぶどう産業振興ビジョン」に則って、ぶどう農家のデータベース構築等に取り組んだ成果といえる。交流人口の拡大とともに、継続的な活動を目指して、グリーン・ツーリズム等の参加者へのアンケート調査による意見を参考に、PDCAサイクルに基づいて体験プログラムの充実を図り、事業の発展を期待したい。
東北	④農山漁村への定住促進	岩手県	雫石町	コテージむら農家住宅推進協議会		●	○	□	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。コテージむらを活用した「これからの農家住宅」について、移住者のニーズに沿った二つの価格帯のプランを策定するなど、事業に基づく移住促進に向けた取り組みが進められている。ただし、目標の指標として設定している売上げや雇用は、移住者が認定新規就農者として専業経営することを前提としているが、移住者が就農しない場合や兼業・副業として農業に取り組む場合は、目標を達成することは難しいといえる。今後、認定新規就農者への移住支援を進めるならば、住宅環境の整備だけではなく栽培技術の習得や経営のアドバイス等の就農に関する手厚いサポート体制の構築も併せて実施することを検討していただきたい。
東北	⑥農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組支援	岩手県	花巻市	ふるさとやさわ元気村協議会	●	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。取り組みを継続し、定着するためには地域内の様々な団体、個人を如何に取り込み、協働していくかがポイントである。そういう意味では様々な取り組みを行いながら成果を積み上げている様子がうかがえる。福祉農園は本事業の大事な位置付けを占めているものなので、理解を深めるためにも、体験プログラムなどの詳細な報告体制の構築が望まれる。今後の展開に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H28	H29	H30	H31		
東北	⑥農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組支援	秋田県	秋田市	秋田市農福連携推進協議会	●	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。「休耕地・耕作放棄地を活用して障がいを持つ方、アクティブシニア層を労働力として農地の再生を図り、収益性の高い畑作物を生産、6次産業化を試みる」ためには、本事業で活動している間に如何にビジネスモデルを作り上げることができるかにかかっていると考える。交流人口、農作業体験の人数を増やして「ファン」づくりに注力し、売上げを上げて働く人にお金がまわるような仕組みを考えて実践していくことこそが本事業のカギとなると考える。今後の取り組みに期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	宮城県	仙台市	仙台坪沼活性化推進協議会	●	●	□		B	計画に基づく取組が一定程度実施され、成果もある程度あがっていることから、評価をBとした。様々な取り組みを行い交流人口を増やし、売上げを上げている。同協議会のホームページも整備されており、有名芸人を招き行ったイベントの写真等を掲載するなど、都市部の若者等に対する発信等も功を奏していると思われる。今後、地域において継続していくためにも、本事業における取り組みをしっかりと根付かせ、雇用に結びつけるよう関係者で課題を共有し、解決していけることを期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	宮城県	登米市	鱒淵地域住民自治推進協議会		●	○	□	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。計画はすべて取り組まれ、実績についても目標値を上回っており、1年目としては順調にしている。とりわけ、売上げは大きく伸びている。また、本事業では、金銭で評価できない「里守型村業創出プラットフォーム」の取組は、単なる地域の支え手の形成・定着だけでなく、農福連携の観点からも今後の成果も注目に値する。また、農産物の出荷事業と交流事業については、本事業の柱だが、両者がともに関連しあい双方で高め合うような地域としての構造化があるとなおよい。今後の展開に期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	宮城県	大崎市	里山と首都圏を結ぶ田尻地域ひと・もの・文化交流促進協議会		●	○	□	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。計画はすべて取り組まれ、実績についても目標値を上回っており、1年目としては順調にしている。とりわけ、売上げは大きく伸びており、その過半をマルシェでの販売額であることからすると、ニーズはしっかり存在している。また、里山セラピーツアーへの関心も高く、外から人を呼び込める。このように外からの取り込みについては心配ないが、それだけに農産物の販売と人口交流が別個のものになってしまうことを懸念する。両者は地域の中で関連し合い、互いに高め合っていくような姿の取組についても、今後期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	山形県	白鷹町	白鷹町「日本の紅(あか)をつくる町」連携推進本部		●	○	□	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。紅花を中心に地域の振興を図る取組を総合的に行おうとしている。生産、販売、交流(観光)ともに地域として一体的な取組として、地域ぐるみの組織化が既に形成されているようである。交流人口、売上げ、雇用といった主要目標が、29年度の段階で既に30年度の目標を超える成績を収めていることから、30年度は、当初の目標によらず、さらに高い成果を求めることが望まれる。また、本事業についてPDCAサイクルを廻し、事業の成果がしっかりと定着できるよう図られてたい。

平成29年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H28	H29	H30	H31		
東北	福祉農園等整備事業及び福祉農園等支援事業	岩手県	大船渡市	非営利型一般社団法人かたつむり		●	●	□	A	計画に基づく取り組みが十分実施され、成果があがっている。取組み状況、事業実績及び実施体制の各項目において、A評価が2以上かつC評価がないことから、評価をAとした。ハウス型福祉農園の整備や栽培技術・商品開発の研修に精力的に取り組んだことで、事業初年度で目標を概ね達成できている。障がい者が周年で農作業や農産物の加工に携わることができる土台を初年度に構築できた点は、今後の事業展開に期待もてる。30年度は、取り組みのポイントにも掲げている地域のシルバー人材との協働による相互作用を通じた目標達成を期待したい。
東北	福祉農園等整備事業及び福祉農園等支援事業	福島県	白河市	社会福祉法人こころん		●	●	□	B	計画に基づく取組みについて一定程度実施され、成果もある程度あがっている。取組み状況、事業実績及び実施体制の各項目において、A評価が1つかつC評価がないことから、評価をBとした。障がい者による働く場の提供としての「農業」づくりを目的としており、特に養鶏場をそうした場として取り組んでいる。30年度はGAP取得など意欲的な取組であり、29年度も目標をやや下回ったものの、一定の売上げを達成している。社会福祉法人が中心となってマネジメントを行っているが、連携団体として地元農事組合法人が参加して「事業の推進体制は整っている」。特徴のある農産物・加工品の開発の計画もあり、今後も順調に進められることを期待する。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)